

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

					No.	13-004	
PDCA	事務事業名	環境保全事業	部課等名	市民経済部 環境課	担当	高橋	
					内線等	332	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち					
		節： 第2節 環境との共生					
		基本施策： 1. 地球・地域環境の保全					
		単位施策： (2) 地域環境保全					
	根拠法令等	騒音規制法、振動規制法、半田市環境保全条例					
	対象・目的	市民の良好な生活環境を維持するため、地球及び地域環境の保全を図る					
	目的を達成するための手段・活動内容	大気・水質・騒音等の一般環境汚染状況を把握するため、定期的に環境測定を実施する。環境保全協定締結事業所へは立入検査を実施し、各施設の管理状況等について確認を行う。地域猫活動を推進し、生活環境保全のための野良猫対策に努める。環境基本計画の着実な推進を図るとともに市民や事業所、有識者の意見を政策に反映させるため、はんだ環境パートナーシップ会議を行う。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		H30年度	R1年度	R2年度	単位
		大気汚染常時監視想定項目数		4	4	4	項目
		公共用水域水質測定回数		232	232	268	回
		環境保全協定締結事業所等立入検査回数		10	10	0	回
		事業費		6,653	5,852	6,998	千円
		人件費		12,305	12,110	9,875	千円
		総事業費		18,958	17,962	16,873	千円
		活動単位当たりのコスト		H30年度	R1年度	R2年度	単位
	環境保全事業に係る市民1人当たりのコスト		158	150	130	円	
	大気汚染常時監視に係る市民1人当たりのコスト		14	17	16	円	
	公共用水域水質分析に係る市民1人あたりのコスト		20	16	14	円	
	成 果	成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	単位
		大気汚染物質に係る環境基準達成物質数	実績値	3/4	4/4	—	物質
			目標値	4/4	4/4	—	
		市内河川に係るBOD数値の環境基準達成率(調査河川数：5)	実績値	40(2/5)	60(3/5)	60(3/5)	% (河川数)
			目標値	100(5/5)	100(5/5)	100(5/5)	
環境保全協定締結事業所への立入調査実施件数		実績値	10/39	10/41	0	件	
		目標値	10/39	10/39	10/42		
地域猫保全活動を行うボランティア数		実績値	—	—	31	人	
	目標値	—	—	13			
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
	事業の評価・課題	C					
		大気の常時監視や公共水域の水質調査等により、市内の生活環境が概ね良好であることが確認できた。また、市民が市内の河川等の身近な水環境の実態を知ることができるよう、公共水域の水質調査結果を市ホームページに掲載した。環境パートナーシップ会議等で以前から指摘を受けていた矢勝川の水質については、汚濁源調査を実施し、おおよその汚濁源特定ができた。					
		地域猫活動については、市報やホームページに活動内容を掲載し、活動を実施する地域へのチラシ配布等により、市民に幅広く周知を行った。また、令和元年度から登録している、公益財団法人どうぶつ基金の「さくらねこ無料不妊手術事業(行政枠)」の活用、個人で活動するボランティアへ捕獲器の貸出し等により、活動する市民への支援を行った。その結果、108匹に対して不妊去勢手術を実施し、野良猫の増加を抑制した。					
		なお、環境保全協定締結事業所に対する立入調査については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に鑑み、実施しなかった。					
		改善推進					
		矢勝川については、地域住民への現状周知や、汚濁原因と考えられる事業所などへの働きかけにより、水質の改善に努める。事業拡大を行う事業所や新規に立地する事業所に対しては、環境保全協定の締結を呼び掛け、協定締結事業所に対しては、引き続き、定期的に立ち入り調査を実施し、協定項目が遵守されているかどうかの確認を行う。また、協定締結事業所に対して、地球温暖化対策の視点での新たな協定の締結などにより、「ゼロカーボンシティ」達成に向けての協力を働きかける。					
地域猫活動については、令和3年度から新たに設ける「キャットサポーター」制度への登録を推進し、全市民的な活動の定着を図る。							
なお、大気汚染常時監視については、老朽化した測定装置の更新を行わず、令和2年度をもって終了した。							
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性						
	令和3年度の目標	成果指標		目標値	単位		
市内河川に係るBOD数値の環境基準達成率(調査河川数：5)		100(5/5)	% (河川数)				
キャットサポーター登録者による交流会の開催		実施					